

【生活・小2・「うごく うごく わたしのおもちゃ」】①

育成を目指す資質・能力

身近にある物を使って動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

ICT活用のポイント

身近にある物でつくったおもちゃで試しながら遊ぶ活動を振り返る際に、ICT端末を活用し、遊びを通じた気づきを表現し合えるようにすることで、つくったおもちゃの良さや改善点について捉えやすくし、おもちゃをよりよくするための見通しをもてるようにする。

導入：めあてをつかむ

体験活動：遊びを試す

表現活動：気づきを表現し伝え合う

①スライドの作成・共有・検討

まとめ：改良の見通しを確認する

②スライドの共有・確認

事例の概要

【①スライドの作成・共有・検討】

- ・試して遊んだおもちゃについて、ICT端末カメラ機能を活用して写真撮影する。
- ・写真のデータを学習支援ソフトのスライドに取り込み、アドバイス（気付いたことや改善点等）を文字やイラストで書き込む。

- ・試して遊んだおもちゃを作ったグループに、アドバイス書込スライドを送付する。
- ・他グループから送付されたスライドを基に、おもちゃ改良の見通しを検討する。

【②スライドの共有・確認】

- ・電子黒板にICT端末画面を表示しながら、グループで考えた改良の見通しを説明し合い、改良の見通しを確認する。

【生活・小2・「うごく うごく わたしのおもちや」②】

【事例におけるICT活用の場面①スライドの作成・共有・検討】



遊んだおもちゃを
ICT端末カメラ機能
で撮影



写真のデータを
スライドに取り込み
アドバイスを記入



他グループからの
アドバイスを確認し
改良の見通しを検討

【事例におけるICT活用の場面②スライドの共有・確認】



大型テレビにICT端末画面
を表示し児童が説明



各グループの改良の見通しを共有

【活用したソフトや機能】

- ICT端末カメラ機能 写真撮影
- 学習支援ソフト スライドの作成・共有
- 大型テレビ スライドの共有

【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- 体験（試しの遊び）前には、活動の視点を明確にもてるようにし、体験で豊かな気づきが得られるようにするとともに、気づきを表現したいという思いや願いをもてるようにする。
- ICT端末の操作について、事前に写真撮影やお絵描き体験等の活動を十分に行うなど操作に慣れ親しんでおくようにする。
- スライドへの表現方法や機器操作に困っている児童への支援や、個々が表現した気づきを見取った指導を充実できるようにする。

【ICT活用のメリット】

- 写真を使って表現できるようにすることで自分の考えをより分かりやすく表現することができる。
- 大勢からの考えを瞬時に共有でき、わかりにくい表現についてその場で直接本人に質問できるため、考えを広められる。
- 考えがスライドに具体的に表現されるためグループや全体で検討しやすい。